

## 副調整室と中継現場との連絡系「コーディネーション用電話システム」

# BEACON SITE

中継連絡システム

標準アプリケーションを開発

### 主な機能

- 中継連絡を目的とした設備で、電話放送装置の制御や単体機器への制御を行えます。
- TEL自動発信装置にて登録した電話番号へ簡単に通話接続が出来ます。
- N-1 MTXと連動し中継先へ自動で-1音声・IDの送り返しが出来ます。
- ニュース番組などで中継現場や現地放送局からリポーターが放送に参加する場合、副調整室と中継現場とのコーディネーション用電話の役割が重要となります。現場情報の確認、段取りやリハーサル、放送参加直後のレポート開始の合図、さらに音声機器にトラブルが発生した場合に電話放送として利用するなど用途は多様です。
- 中継現場とスタジオ間で掛け合いをする場合、放送局から中継現場へ"放送音声から中継現場の音声を除いた送り返し音声(N-1)"を送り返します。
- 中継先の映像を一覧で確認することが可能です。

マスター及び回線センター側から回線情報を端末に表示することができます。



Coord PCに各情報を設定



PCにて登録した中継先情報を表示し電話連絡や電話放送を簡単に行えます。

### 電話回線モード



#### 電話回線モード運用画面

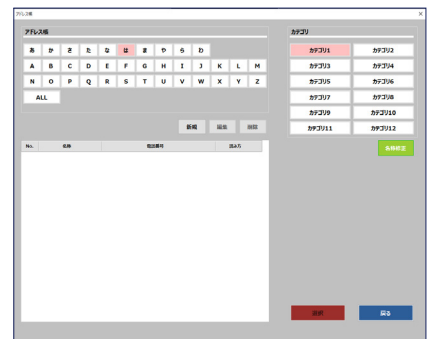
- 設定した回線番号[打合せTEL]の「A」「B」で使用する電話機を選択し「発信」をタッチすると電話が発信できます。
- [N-1セレクト]をタッチすると「モード選択画面」が開き、「N-1」「インカム」「TELハイブリッド」が選択できます。「-1送出」をタッチしONにすると「-1」した音声を送出できます。
- 「キー局受け」をタッチすると「キー局受け設定画面」が開き、設定できます。
- 「AIR」「ID」「SP」をタッチするとONになります。
- 「モニター」をタッチすると中継先の映像を一覧で確認できます。

### 専用線モード



#### 専用線モード運用画面

- [N-1セレクト]をタッチすると「モード選択画面」が開き、「N-1」を選択できます。
- 「キー局受け」をタッチすると「キー局受け設定画面」が開き、設定できます。
- 「AIR」「ID」「SP」をタッチするとONになります。



#### アドレス帳機能

- アドレス帳に「カテゴリ」「名称」「電話番号」「読み方」を登録すれば簡単に呼び出して設定することができます。
- 「カテゴリ」は12種類まで任意の名称を設定できます。
- 「読み方」でソートすることが可能なため登録件数が増えても見やすく一覧で表示できます。

### モニターモード



#### モニターモード運用画面

- 中継先の映像を一覧で確認することができます。
- 映像設備のルーターを制御し、映像の切り替えを行う事も可能です。

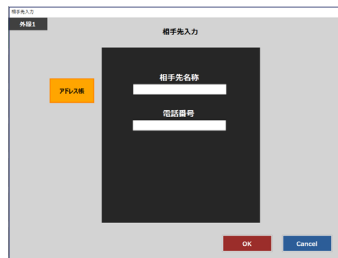
## 各設定画面



④ モード選択画面



④ キー局受け設定画面



④ 相手先入力画面

■直接入力または「アドレス帳」からの設定が可能です。

■レベルは▲▼にて設定で

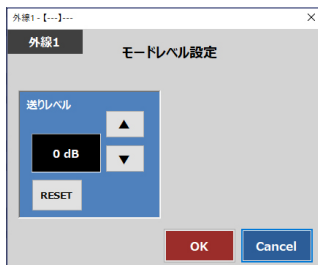
+18 ~ -30  
-35  
-40  
-45  
-50  
-55  
-60  
∞

と設定が可能です。

※+18 ~ -30は1ステップ



④ AIR/SELレベル設定画面



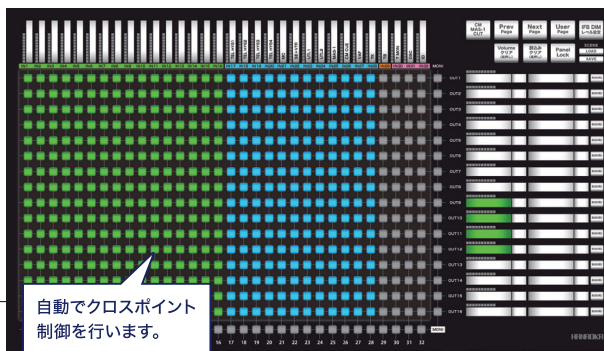
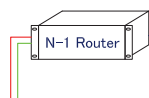
④ モードレベル設定画面



④ プラスセレクトレベル設定画面

## オプション/既設流用可 <N-1 Router + N-1 Router Monitor>

- 中継連絡システムからの制御によって自動でN-1を生成します。
- 入力回線の名称は外部からの中継回線データを受信して表示されます。出力回線の名称で入力回線と一致するものがあればクロスポイントは外されます。



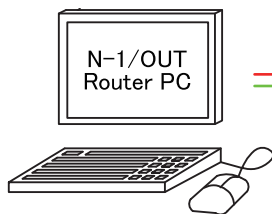
自動でクロスポイント制御を行います。

## 概要系統図

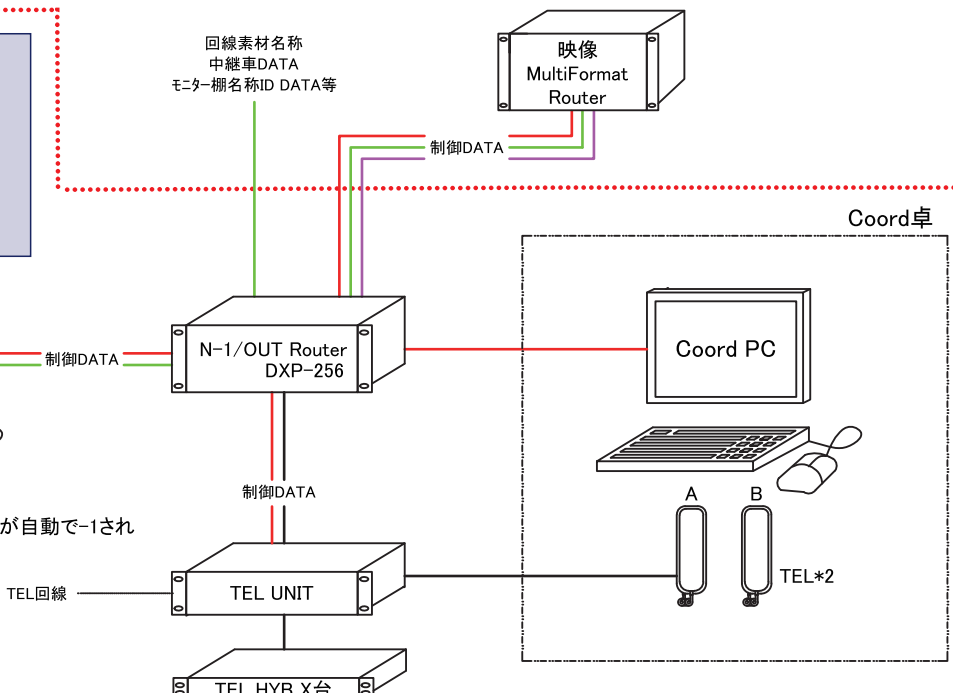
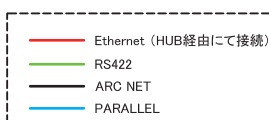
### 標準セット

#### 【標準機器構成】

- ・DXP-256 x 1式
- ・Coord PC x 1式
- ・TEL UNIT x 1式
- ・TEL HYB x 1式
- ・電話機 x 2式



Coord卓で選択されている中継先の音声は自動で-1され送り返されます。



●本カタログは2023年11月現在のものです。仕様および外観は予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。  
●製品写真は、出荷時のものと一部異なる場合があります。